

「在宅療養・ACPガイドブック講習会」及び「在宅療養講演会・シンポジウム」の
実施報告について

1. 主旨

令和3年3月に発行した、「在宅療養・ACPガイドブック『L I F E これからのこと』」の活用を図る目的で、主に区民、医療・介護関係者を対象に、「在宅療養・ACPガイドブック講習会」を実施した。

また、在宅療養、ACP（人生会議）の講演や、家族、医療・福祉従事者の話を踏まえ、住み慣れた自宅で安心して暮らし続けるための「備え」について、一緒に考える「在宅療養講演会・シンポジウム」を開催したので報告する。

2. 実施内容

(1) 在宅療養・ACPガイドブック講習会

①「本人の状態や専門職の立場に応じた人生会議のあり方」[事業者向け]

令和4年11月15日（火）午後6時から8時30分まで ※オンライン開催

【第1部】基調講演

講師：五味一英氏（桜新町アーバンクリニック在宅医療部 診療部長）

【第2部】実践報告

講師：鹿島雄志氏（株式会社りはっぴい 理学療法士）

：尾山直子氏（桜新町ナースケア・ステーション 訪問看護師）

：横溝美和氏（NPO向日葵 主任介護支援専門員）

参加者：63人

あんしんすこやかセンター、訪問看護、医療機関、居宅介護支援、
小規模多機能型居宅介護、訪問リハビリテーション、通所リハビリ
テーション、その他

②「人生会議をしませんか これからの暮らしや医療・介護について考える」

[区民向け]

令和5年1月14日（土）午後2時から3時45分まで

会場：三茶しゃれなあどホール（世田谷区民会館別館）

【第1部】基調講演

講師：五味一英氏（桜新町アーバンクリニック在宅医療部 診療部長）

【第2部】個人ワーク

参加者：26人

(2) 在宅療養講演会・シンポジウム

「住み慣れた自宅で最期まで安心して暮らし続けるために」

令和5年2月5日(日)午後1時30分から午後4時まで

会場：梅丘パークホール

【第1部】基調講演

講師：向山晴子(世田谷保健所長)

【第2部】シンポジウム

シンポジスト：惟住浩太郎氏(自宅で支えた家族)

小原正幸氏(小原医院 院長)

今井めぐみ氏(訪問看護ステーションけやき 管理者)

江口志乃氏(お天気介護サービス ケアマネジャー)

石川正泰氏(やさしい手太子堂訪問看護事業所 支配人)

参加者：65人

4. 受講者アンケート結果

別紙のとおり

1. 目的

令和4年11月15日(火)午後6時～8時30分に行ったZoomでの在宅療養・ACPガイドブック講習会「本人の状態や専門職の立場に応じた人生会議のあり方」について、開催後にアンケートを行った。

2. 調査設定

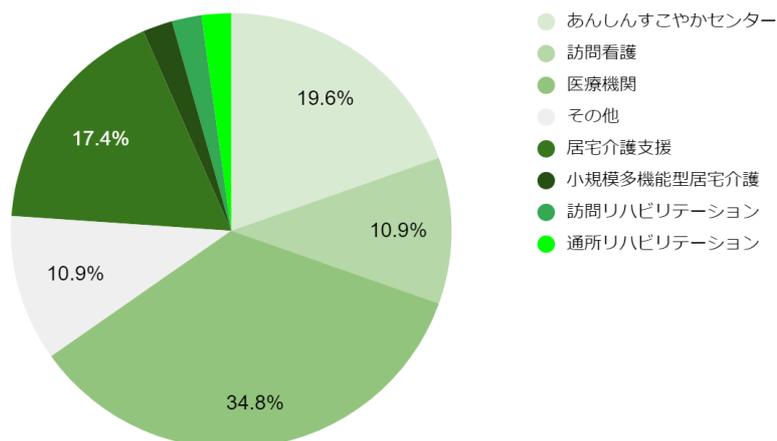
- (1)対象数 63人
- (2)調査方法 オンラインでのアンケート
- (3)調査期間 令和4年11月16日から11月25日まで

3. 質問と回答

(1) 事業所種別

46件の回答

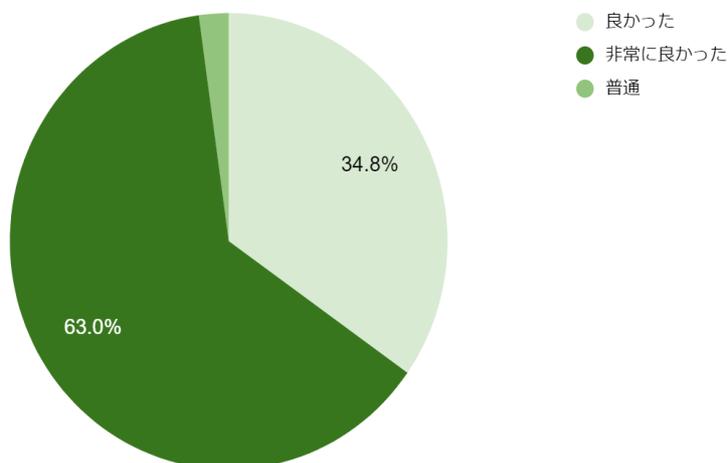
「1. 事業所種別」



(2) 講習会の評価

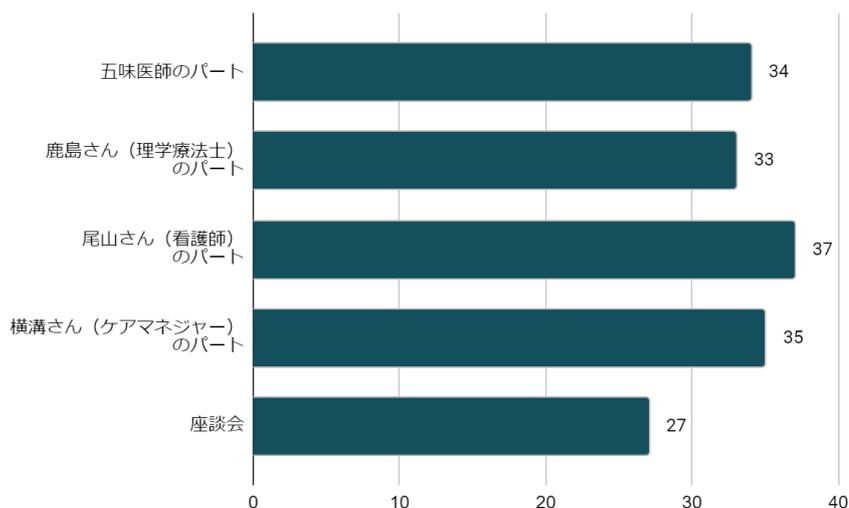
46件の回答

「2. 講習会に関する評価」



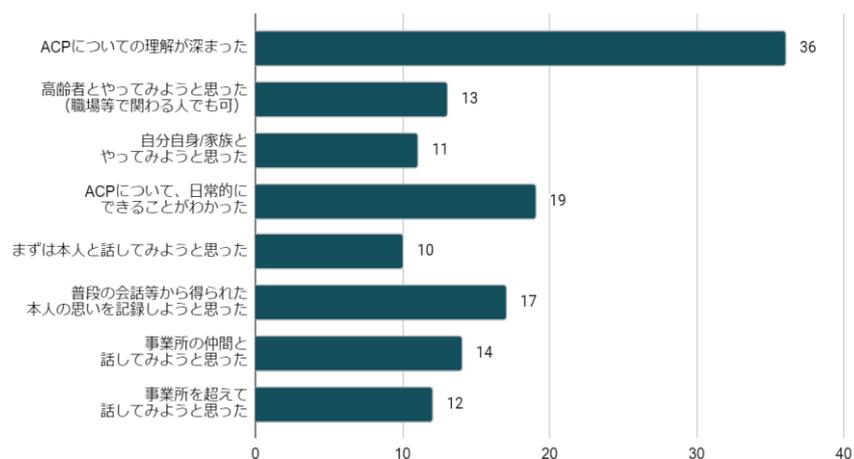
(3) どの部分が学びになったか (いくつでも)

46 件の回答



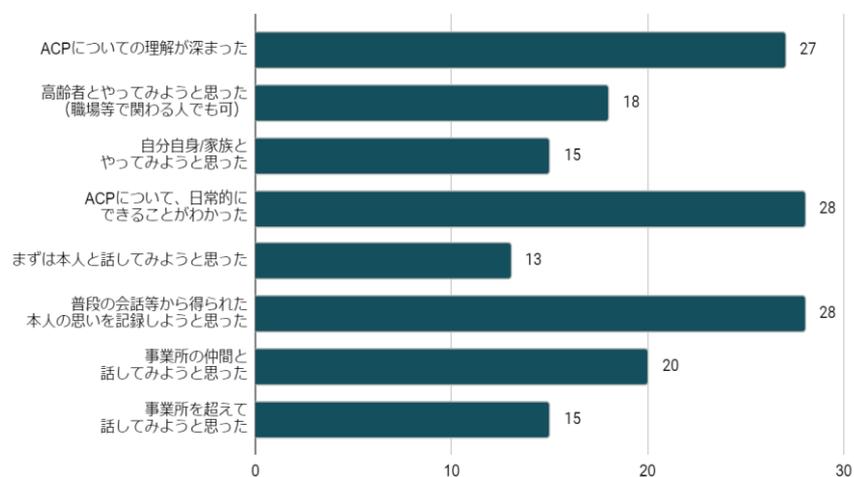
(4) 第一部における、ACP についての理解 (いくつでも)

46 件の回答



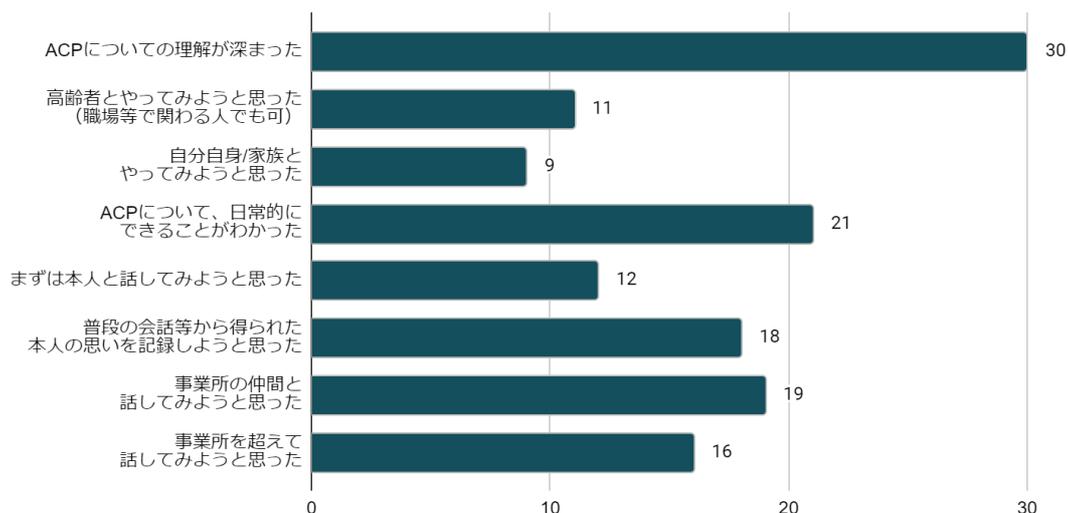
(5) 第二部における、ACP についての理解 (いくつでも)

46 件の回答



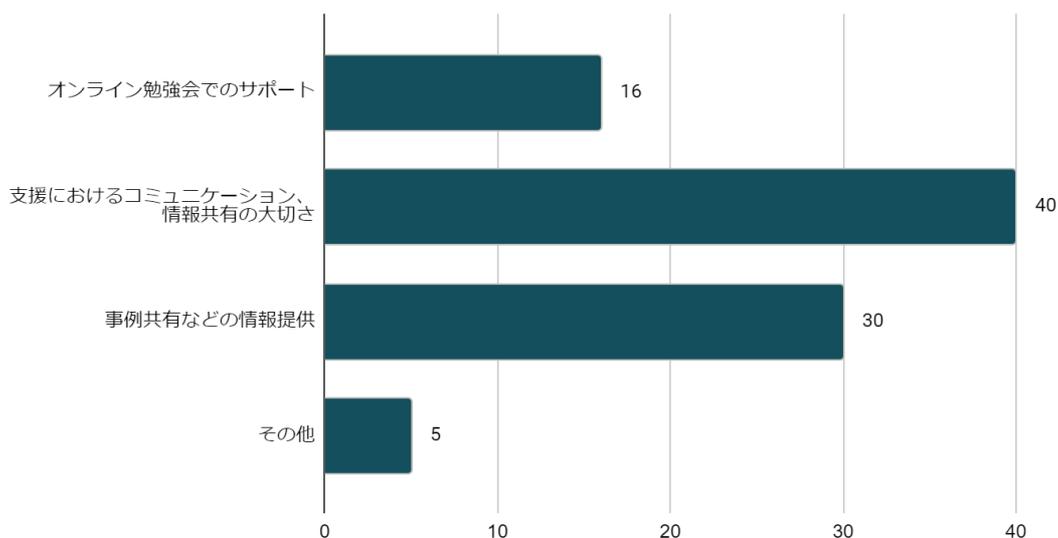
(6) 座談会パートにおける、ACP についての理解（いくつでも）

46 件の回答



(7) ACP を浸透していく上で重要であること（いくつでも）

46 件の回答



(8) その他、今回の講習会のご感想・今後実践してみたいことなどがあれば、ご自由にお書きください（抜粋）

● 実践事例が参考になった

とても充実した講習会でした。特に尾山さんの事例(LIFE に色を塗り、書き込み、誰でも読めるようにしてる方)は涙が出そうなくらい感銘を受けました。（医療機関）

ACP という概念ではなんとなく理解しているつもりでしたが、現場でどのように具体的にご本人の意思を把握しているのか分かりませんでした。しかし今回の講習会を受けて、ご本人の日常に散らばっている情報を拾い集め、ご本人の人となりや価値観をつかんでいくことが重要であると分かり、大変勉強になりました。ありがとうございました。（その他）

- 実践したいこと（患者・利用者、家族）

ACP は、大袈裟なことではなく、私たち普段からのケアの中で大事にしていることだと改めて見直すよい機会でした。介護問題負担が増し、ストレスを抱えた介護者による虐待問題も増えております。ケアを通して、人生会議と一緒に本人と家族のケア、支援についても、今回のような座談会を交えた学びの会があると良いと思いました。（その他）

在宅療養や看取りを経験した患者家族の当事者から、その過程で受けた ACP のことを語る企画があるとよいかも。（医療機関）

今回の研修では、事業者としての利用者さんの ACP への関わり方は大変勉強になり、実践に移していきたいと思いました。ACP の浸透という部分で、まったく予備知識のない区民への普及の仕方について何かヒントになるような研修があると嬉しいです。（あんしんすこやかセンター）

昨年 6 月の講義も聞いていたので、今回は第 2 部が参考になりました。これまで実践されているパネリストの方々の思いが伝わり、冊子「LIFE」の自事業所なりの活用方法を、長いスパンのトピックとして、職場で話し合っていきたいと思いました。（あんしんすこやかセンター）

- 実践したいこと（連携）

病院での ACP の実践は難しいと思い、今出来ることはパンフレットの配布など種まきのなことであるが、在宅では確実に進歩していると感じた。家族間や、職種間、チーム間、そして病院と地域など全ては、コミュニケーションが大事であると感じていたので、研修はとても共感でき、今やっていることが数年後には何か反応が得られるような気がしてきた。ありがとうございました。是非病院との連携の事例紹介があると嬉しいです。（医療機関）

演者の方々それぞれお話が上手で興味深い内容でした。特に横溝さんの体験談は自宅で介護したからこそ多くの学びであったり、家族だから許されることなど在宅介護ならではのエピソードが盛り込まれ、好事例だったと思います。

今回の講演会を通じご縁が有れば演者の方々と連携したいと思える動機付けになりました。益々の地域でのご活躍を期待します。ありがとうございました。（医療機関）

また理学療法士の関わりについて、他区の理学療法士会主催の勉強会で ACP を扱い、理学療法士さんとグループワークでお話する機会を経験しましたが、自身が担当する地区で ACP に関することをお話出来るリハビリ専門職はあまり思い浮かばない状況です。多職種での取り組みも重要ですが、同じ専門職の中でも勉強会等で経験の共有など続けていくことが重要と考えます。（あんしんすこやかセンター）

- その他

NPOにも所属し、ガイドブックを使って勉強中です。とても楽しくやっています。元氣なうちからやることの良さを実感中しています。（居宅介護支援）

それぞれの職種の強みを活かして取り組んでいるのが印象的でした。そして専門職でありながらご家族の立場に立った経験談は、とてもためになりました。貴重なお話ありがとうございました。

LINEで自由に交流できる環境は話が進みやすそうだなと思いました。MCSなどの話も出ましたが、そういったソフトやアプリにACP関連の情報を入力できる場所があれば、それぞれの職種が拾い集めたご本人の思いを入力して、共有していけるのかなと思いました。（医療機関）

ACPガイドブックについての説明を詳細に受けたいと思いました。

講習内でもあったように、ACPの認知度は未だ低く、まず一般の方々への認知度を上げないことには、普及はしないと考えます。量として認知されるための方策の検討が必要であると思います。

自宅で過ごすとはどういうことなのか、など当事者への説明はまだ不十分であると思います。支援者はそれぞれの場面を理解した上で、物語だけにとどまらないACPを利用者と共に考えることが求められているのではないのでしょうか。（あんしんすこやかセンター）

区民向け在宅療養・ACPガイドブック講習会 受講者アンケート結果

1. 目的

令和5年1月14日（土）午後2時～3時45分に行った対面での区民向け在宅療養・ACPガイドブック講習会「人生会議をしませんか -これからの暮らしや医療・介護について考える-」について、開催後にアンケートを行った。

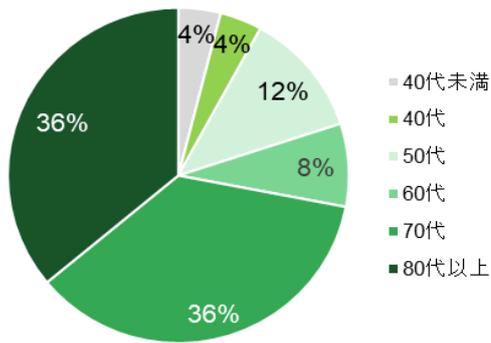
2. 調査設定

- (1)対象数 26人
- (2)調査方法 書面でのアンケート
- (3)調査期間 令和5年1月14日

3. 質問と回答

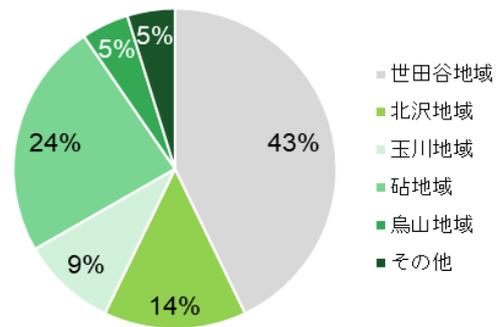
(1) 年齢

25件の回答



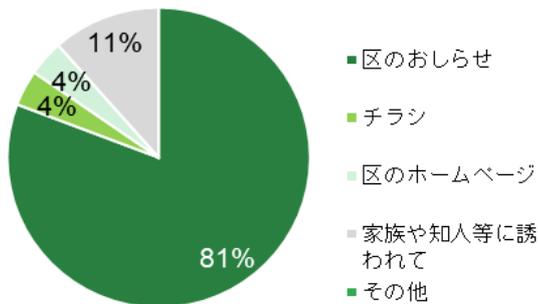
(2) 地域

21件の回答



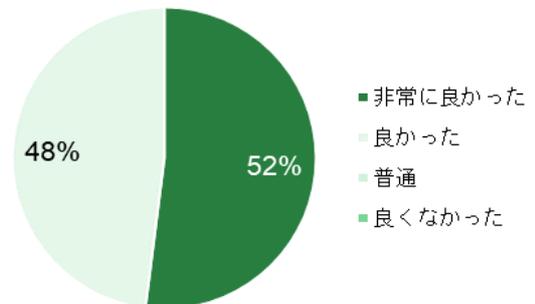
(3) 講習会を何で知りましたか

26件の回答



(4) 本会の評価

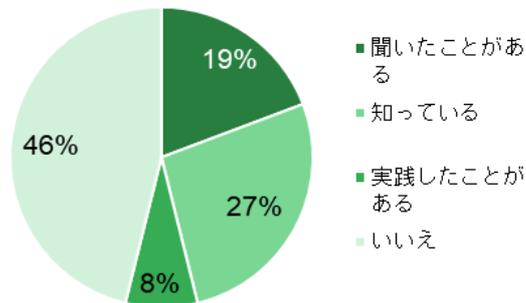
25件の回答



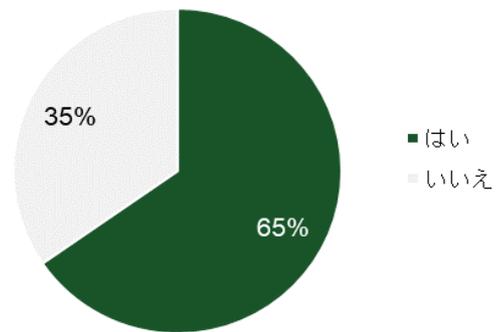
(5) 人生会議・ACPという言葉について

(6) 地域の通院している医療機関

26 件の回答

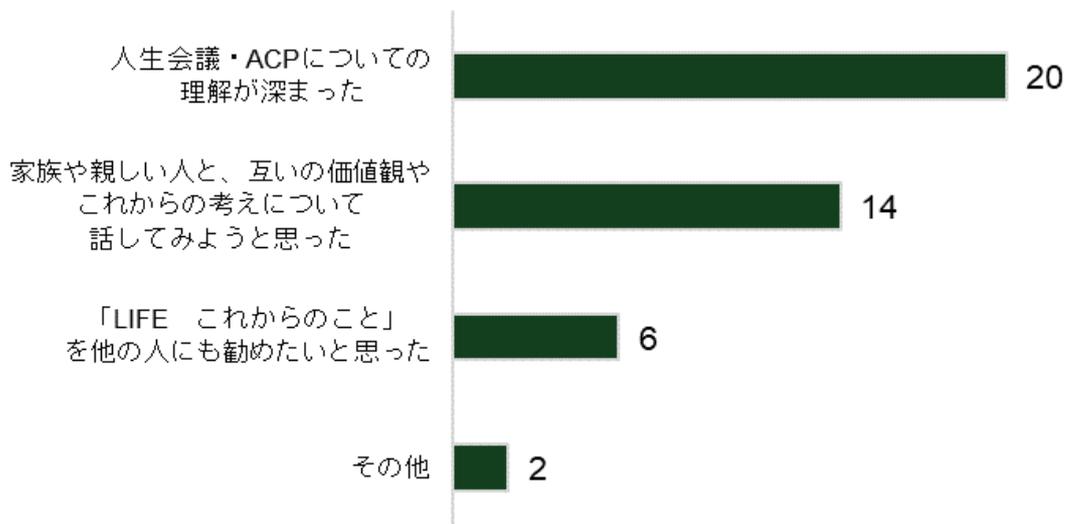


(かかりつけ医) いますか
25 件の回答



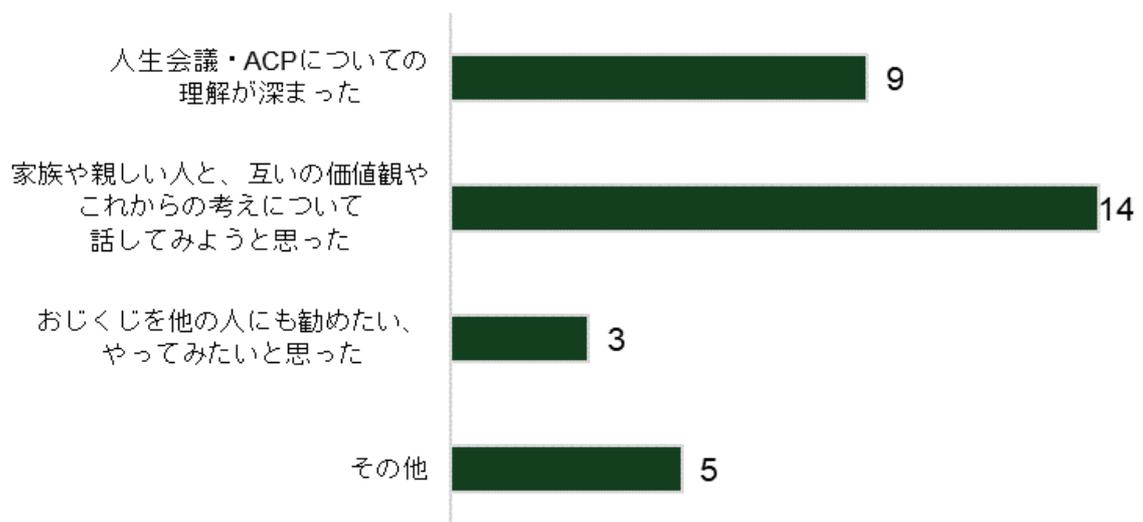
(7) 五味先生の講演の感想 (いくつでも)

26 件の回答



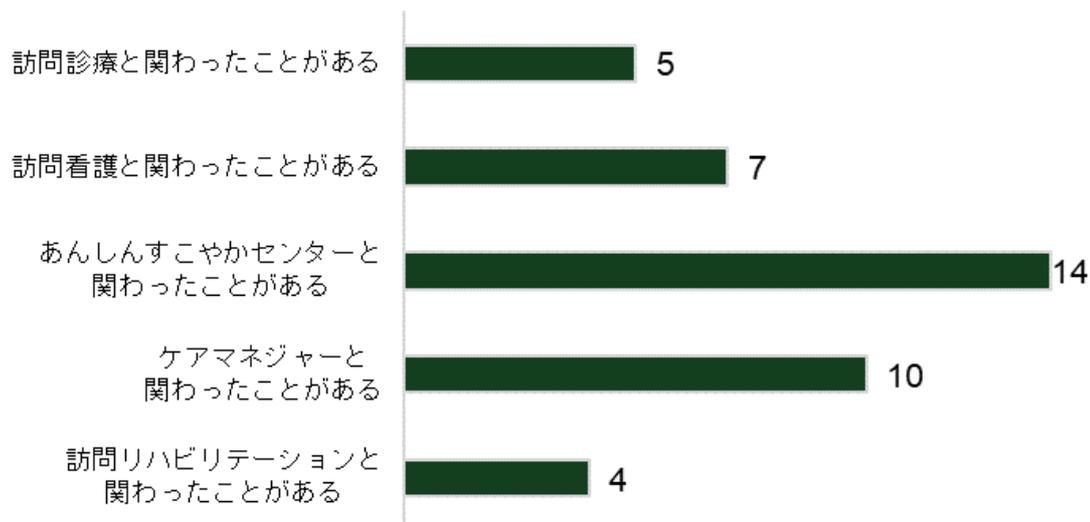
(8) 個人ワーク(おじくじ)をやってみた感想 (いくつでも)

26 件の回答



(9) 在宅医療と関わりのあるサービスについて (いくつでも)

26 件の回答



(10) その他、今回の講習会のご感想・今後実践してみたいことなどがあれば、ご自由にお書きください

- 講習会に対する感想

おじくじよかったです (50 代、世田谷地域在住)

貴重な情報を色々と頂けて有意義な時間でした。有難うございました。(40 代、世田谷地域在住)

五味先生のお話はとてもわかりやすかったです。ありがとうございました。(50 代、世田谷地域在住)

介護職として参加しました。他の参加者の方々は自分ごととしての参加の方が多く、その方々のお話もう少し聞ければよかったなと思っています。(50 代)

- ACP・人生会議について

家族、夫婦との話し合いの大切さを痛感。コロナ禍の中、人生観も変化しました。(70 代)

大きな病気をしたことがないので、今回の ACP を興味を持って向き合いたい。(80 代以上、世田谷地域在住)

2 回目の「人生会議」の講習会でした。大変に有意義で心に入っていくお話でした。ありがとうございました。早い機会に子供達と話、「リビング・ウィル」の意思表示の重要性を感じました。(70 代)

自分が動ける年齢まで努力して生活をエンジョイして寝たきりが見込まれれば延命治療は必要なしで救急治療なしで痛みだけ取り除いてほしいと思っています。それまでは一生懸命人生を謳歌したい。(70 代)

地域ボランティア活動中(居場所づくり)。人生会議という言葉は当初意味があやふやでしたが、普段夫婦と話題にしていますので、再度話し合い共有しておきたいと感じました。(80 代以上、玉川地域在住)

- 居宅での過ごし方、在宅医療サービスについて

かかりつけ医について、どの程度かわからないがこちらではそう思うが医者の方は？訪問診療を詳しく知りたい（年齢、地域不詳）

一人暮らし、近くに親族はいないので最後までできるだけ自立して生きていくにはどうすれば良いか考えている。（70代、世田谷地域在住）

訪問診療医を紹介してもらいたい。（80代以上、砧地域在住）

近所でかかりつけの医者を探すのが難しい。気の合う所が少ない。（70代、玉川地域在住）

訪問看護・診療所を選ぶ時の基準、その評判を知りたい（80代以上、北沢地域在住）

在宅療養講演会・シンポジウム アンケート集計

資料2別紙

令和5年2月15日

【実施概要】 開催日時：令和5年2月5日（日）午後1時30分～4時

開催場所：梅丘パークホール

申込件数：77人、参加人数：65人、アンケート回収：55人

① 年代

単位：人／％

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	無回答
0	0	2	5	12	14	22	0
0	0	3.6	9.1	21.8	25.5	40.0	0

② お住まいの地区

単位：人／％

世田谷地区	北沢地区	玉川地区	砧地区	烏山地区	世田谷以外	無回答
17	10	10	13	2	1	2
30.9	18.2	18.2	23.6	3.6	1.8	3.6

③ 医療・福祉の従事者ですか

単位：人／％

医療職	福祉職	行政職	その他	無回答
7	4	2	31	11
12.7	7.3	3.6	56.4	20.0

その他（一般、事務職、ボランティア活動、無職）

④ 知ったきっかけ（複数回答）

単位：人／％

区のお知らせ「せたがや」	広報板	研修センターホームページ	開催チラシ	区 Twitter
30	3	1	18	0
54.6	5.5	1.8	32.7	0
研修センター Twitter	せたがや高齢介護応援アプリ	家族や知人に誘われて	その他	無回答
0	0	5	4	0
0	0	9.1	7.3	0

その他（図書館、研修センターFAX、担当医にすすめられた、事業団職員）

⑤ 参加した理由（複数回答）

単位：人／％

家族のため	自分のため	自分の仕事に活かすため	ACPについて知りたいため
18	45	8	6
32.7	81.8	14.6	10.9
在宅療養について知りたいため	自分や家族が在宅医療を受けている（過去に受けていた）	その他	無回答
27	4	4	0
49.1	7.3	7.3	0

その他（・家族がいない・知人たちにも伝えたい・ほぼ寝たきりの父を老健に預けてしまい、自宅で看取ることができず、悔やんだ気持ちがあるから・介護を卒業して、今の状況を知りたかった）

⑥ 基調講演の内容はいかがでしたか（複数回答）

単位：人／％

参考になった	気づきがあった	ACP について理解が進んだ	その他	無回答
40	15	12	3	7
72.7	27.3	21.8	5.5	12.7

⑦ シンポジウムの内容はいかがでしたか（複数回答）

単位：人／％

参考になった	気づきがあった	ACP について理解が進んだ	その他	無回答
39	18	10	3	10
70.9	32.7	18.2	5.5	18.2

⑧ 感想、意見、質問、今後「こんな話を聞いてみたい」というご希望

●感想

- ・私は 86 歳、妻 82 歳の夫婦。妻は糖尿病で血糖値を下げる薬を飲んでいるが、元気。家事は最低レベルでこなしている。重度の難聴で補聴器を使用している。現在 2 人とも病気をしないので、かかりつけ医や、特に親しい医師はいない。近くに有隣病院があるが、曜日ごとに医師が変わるので、最期を看ていただくことはできないと思う。どちらかが亡くなり、ひとりになって、ホームに入るのも好まない。娘（都内と横浜）が 2 人いるが、その世話を助けてもらおうと思う。私は地方出身で兄弟姉妹が多かったので、両親の最期の世話をしたり、看取っていないのでいろいろ不安だ。
- ・ひとり暮らしなので、年齢とともに最期はどうなるのだろうかという思いがいつもある。どうしたいかということを考える上で、貴重な取り組みや援助方法など色々あるということを知ることができた。非常に参考になった。
- ・今の自分の暮らしをずっと続けていき、最期の時を迎えるその時は、弱っていて自分だけでは生活は難しいと思う。その難しい部分を手伝ってもらって、不自由さはあっても、「まあこれでいいか」と思えるくらいの生活をしたい。
- ・現実にケアができないもどかしさが何ともいえない感じがする。親に申し訳ない気持ちが今もわいてくる。（惟住氏の話聞いて）
- ・夫を令和 4 年 8 月に亡くし、全ての講師の先生の発表で納得もでき、言いたいこともある。いいシンポジウムだった。これから自分の計画に取りかかりたい。
- ・最期は自宅でという人が殆どだが、実際近所の方はこの 10 年だいぶ亡くなったが、殆ど病院で亡くなっておられる。何十年もお付き合いしている間柄の方でも、自宅で亡くなった方はいない。今日のお話は、自宅で亡くなることができ、良かったと思う。
- ・ケアマネジャーを変えることができると聞いて、なるほどと思った。合う、合わない人がいると考えさせられた。勉強になった。
- ・1. 向山所長の話は、とても温かく心に染みた。報道特集の映像も保健所の保健師が頑張っている様子で、現場でのエネルギーを感じた。
- ・2. 私も在宅で母を 15 年（うち 10 年は寝たきり）介護して、昨年 5 月に旅立ったので、講演会・シンポジウムの内容が重なった。
- ・3. 私にとって、グリーフケアになったと思う。
- ・4. 「LIFE これからのこと」は、素晴らしい道しるべになると思う。

- ・ 惟住氏の真に迫る話は、とても心に響くものがあった。
- ・ 「かかりつけ医・クリニック」があることにより、「在宅診療」がスムーズに移行できることがわかった。
- ・ 終末期で「家で過ごしたい」「家で過ごさせたい」と思う本人・家族が、在宅療養を選択し、在宅サービスを利用しようと思うきっかけとなる講演会だった。在宅ケアチームで、本人・家族を支える医療・福祉サービスがよく理解できた。
- ・ 「LIFE これからのこと」の冊子を初めて知った。とてもいいと思った。
- ・ 世田谷区民として皆さまの生活を支える取り組みに感動した。私は、在宅で夫を看取った。看護職でありながら ACP の知識がなく、実は夫を中心に行われていたことに気づいた。